



園だより

令和1年11月発行

合志こども園 園長 松岡 貴子

インフルエンザ 流行の兆し

秋の深まりと共に、インフルエンザ流行の報道も聞かれるようになってきました。こども園では、11月に入り数名の罹患報告がっております。流行ほどではありませんが、近隣小学校では、学級閉鎖対応が次々なされており、いつ流行してもおかしくない状況です。少しでも『いつもと違うな』と感じたら、無理をしないことが大切です。特に乳幼児は**重症化**しやすいので、気を付けていきましょう。

また、感染拡大を防ぐため学校保健法で定められている、「出席停止基準」の協力をお願い致します。幼児は『罹患後5日』と『解熱後3日経過後』となっていますので、発熱の経過を見られ医療機関の最終受診後、登園を開始してください。休園処置をとらなければならない状況を防ぐためにも、園でも「うがい・手洗い・戸外遊び等」予防に努めてまいります。

近隣の公園にある、銀杏の木や楓の木が見事に色づき、早速子ども達は、葉っぱ遊びに出かけていきました。園庭の木々も色付きはらはらと舞ってきては、園庭を鮮やかにしています。手に取っては「先生。きれい!」「葉っぱ飾って、お料理しよう!」自然を生かした活動を展開しています。

子ども達は、季節の変化の中だけでなく色々な場面で、「これどうしようかな?」「こうやるともっと楽しいかな」と考え、**【問題解決力】**遊びを工夫する姿が見られます。時には友だちと協力し合ったり、**【コミュニケーション能力】**より楽しくなるにはどうしたらいいかを話し合う場面を見かけます。子ども達の豊かな発想には、いつも感心させられることが沢山あります。先日、ブロック遊びに取り組む年長さんが、「もっと高くしようよ」「そっとね」と話し合いながら、組み立てられるブロックの一段一段に横たわる人形ブロック。何を作っているか尋ねると「ベットだよ」と教えてくれ、そのベットは10階建てでした。ゆらゆら揺れるベットにわくわくしながら、友だちとイメージを共有する事で、「協力」「折り合い」「譲り合い」「達成感」「問題解決」「想像力」と体験の中で取得していくことが、子ども達にとって**【関わる大切さ】**なんだなと実感しました。友だち同士だから味合える経験をこれからもいろいろ重ねていってほしいと思います。

また、子ども達の考え・答えはひとつではなく、「こうかな?こうすればいいかもしれない。」と自分なりに答えを導き出すことを大切にしています。取り組む中で、失敗

することがあるかもしれませんが。でも、その失敗から、次の糸口を見つけていくことが、今後の『生きる力』につながっていくと信じ、子ども達との関わりを大切に過ごしてまいります。ご家庭でも、答えを導く言葉掛けにこれからも、取り組んでください。乳児さんでも「こうしたらいいよね」と答えてくれる場面が沢山あります。

子ども達のひらめき！！いっしょに楽しんでまいりましょう。

<11/27 ヒットボール大会の様子>

体育活動で取り組んでいる球技「ヒットボール」保育園と合同で、大会を開きました。これまで、なかなか勝つことが出来ないチームは「必ず一回は勝つ！」と当日気合を入れて参加していました。その気合は、応援の姿や開会式に参加する姿にも表れており、「今何を頑張る時」を考えている事が伝わってきました。その甲斐もあり無事一勝上げ大喜びすることが出来ました。勝負には勝ち負けがあります。「負けたから終わり」とあきらめるのでは、どうやったら勝てるようになるかなを、子どもたちは練習の中でも話し合い、方法を見つけっていました。試合中もどのようにしたらアウトが取れるを考え、必死にボールを追いかける様子は、高校野球の様でもありました。競技を通して感じた思いは、きっと次の力になっていくと信じています。白熱した試合に、お忙しい中応援に駆けつけていただきありがとうございました。

